

# 幸手市立上高野小学校

## 高学年部会

主題名 偏見、差別を許さない態度

【内容項目 C 公正、公平、社会正義】

資料名 「あなたも同じ…」(彩の国の道徳「夢にむかって」)



児童の疑問から学習課題を立てる



児童の意見をおもりに見立てて



心の天秤を使って揺れる心情を表現



自分との関わりで考える振り返り

## 1 授業者から（「私の授業の観てほしいポイント」の説明、授業についての感想等）

### 【私の授業の観てほしいポイント】

- ①学習課題とテーマ発問の設定
- ②多面的・多角的に考える発問の工夫
- ③自分との関わりで深く考える工夫

### 【授業についての感想等】

- 子供たちは自分のことを思い出しながら考えることができた。
- 主人公が、どうしていじめを止めることができたのかについて、さらに深く掘り下げられればよかった。



## 2 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

### 【①のポイントについて】

- 導入から課題提示までがスムーズでよかった。
- キーワードがあり、児童は主体的に考えられていた。
- 導入での「自分ならどうするか」を終末に生かしていればよかった。

### 【②のポイントについて】

- 心の天秤は子供たちの心が表れていて視覚的に捉えやすかった。
- いじめている側の考えをもっと取り入れてもよかった。
- 傍観者と加害者が同じ立場であることをもっと伝えたほうがよかった。
- 子供の声を拾いすぎて、板書のまとまりがなくなってしまった。

### 【③のポイントについて】

- 先生の揺さぶりがあってよかった。
- 子供たちが本音で話せていたのがよかった。
- 2つめの「明菜の気持ち」に寄り添う場面での深まりが足りなかった。苦しさをさらに共有できるとよかった。



## 3 指導講評

- 家庭・地域との連携の視点で、他の教育活動との連携など工夫が見られた。学級通信の活用もよい。
- 道徳はいじめに正面から向き合うため、考え、議論する道徳への転換が図られている。傍観者もいじめの加害者であることが子供たちの言葉から出せるとよい。
- 教材研究の深さが見られる。何度もシミュレーションをしたことがうかがえる。
- 立場が明らかになっていなかった点の課題については、どちらが良い、悪いことを明らかにすることがねらいではないということ。
- テーマ発問に対して、子供たちの話し合いが少なかった。ここに時間を費やすためには、発問を精選していくことも必要である。

